

電子カルテ使用医療機関におけるデータの信頼性確保のためのチェックリスト

浜松医科大学医学部附属病院 2026 年 7 月 13 日現在

確認事項	必須	回答
1. 一般的事項		
1.1 電子カルテシステムの名称を教えてください。		名称(MegaOakHR) バージョン(15.0)
1.2 開発したベンダー名を教えてください。		名称(日本電気株式会社)
1.3 導入時及び機能変更時のバリデーション記録は文書で保存されていますか。	☐	リリース通知書として保存 (但し、非公開)
1.4 運用管理規定は文書で保存されていますか。	☐	「浜松医科大学医学部附属病院診療録等の電子保存に関する運用管理規程」として保存 (複写可能)
1.5 データのバックアップ手順について、規定が文書化されていますか。	☐	「浜松医科大学医学部附属病院診療録等の電子保存に関する運用管理規程」なお、バックアップは自動的に実施されているため、具体的な手順については文書化されていない
1.6 システムが正しく運用されるために必要なユーザ教育・トレーニングが実施されていますか。	☐	☒ はい・いいえ ・システム導入時及び新規職員向け操作講習を実施
2. 真正性の確保について		
2.1 ID・パスワード等による利用者の管理が行われていますか。	☐	☒ はい・いいえ
2.2 保存されたデータに関連付けられた ID 等の識別情報により、誰が入力・変更したのか判別できるようになっていますか。	☐	☒ はい・いいえ
2.3 いったん確定されたデータの変更や消去に際して、履歴が保存され、必要に応じてその内容が確認できるようになっていますか。	☐	☒ はい・いいえ
2.4 過失による誤入力・書き換え・消去等に関して、何らかの防止策が採用されていますか。	☐	☒ はい・いいえ ・修正・削除データは履歴としてすべて保存される。
2.5 入力者への「なりすまし」による虚偽入力・書き換え・消去等に関して、何らかの防止策が採用されていますか。	☐	☒ はい・いいえ
3. 見読性の確保について		
3.1 登録されている情報の必要な部分を、容易に肉眼で見読可能な状態に表示できますか。	☐	☒ はい・いいえ
3.2 登録されている情報の必要な部分を、目的に応じて直ちに書画に表示 (印刷)できますか。	☐	☒ はい・いいえ

4. 保存性の確保について

4.1 法令等で定められた期間にわたって、登録された情報を真正性と見読性を保持しながら保存することが可能ですか。	○	☒ はい・いいえ
5. ハードウェア設置環境及びシステムサポートについて		
5.1 サーバーは、水・火・地震・電磁界等、一般的なダメージに対する配慮がされた場所に設置されていますか。		☒ はい・いいえ
5.2 停電に対する配慮はされていますか。		☒ はい・いいえ ・定電圧定周波数装置(CVCF)により 非常用電源停止時に対応可能
5.3 サーバーに対する防犯・セキュリティ対策はされていますか。		☒ はい・いいえ ・電算室は電子錠を設置の上、IC カードによる入退室管理を実施
5.4 定期的なデータのバックアップやウイルスソフト対策はされていますか。		☒ はい・いいえ ・バックアップは毎日実施 ・ウイルス対策ソフトはサーバーから全 端末を集中管理
5.5 システムに異常が生じた場合の連絡及びサポート体制は定められていますか。		☒ はい・いいえ
6. 直接閲覧の実施方法について		
6.1 直接閲覧時に治験依頼者がシステム画面を直接閲覧することができますか。		☒ はい・いいえ
6.2 治験依頼者が必要な時に利用できるシステム端末が確保されていますか。		☒ はい・いいえ
6.3 治験依頼者がアクセスする際に、データの編集が出来ないような参照権限のみの ID・パスワードの利用が可能ですか。		☒ はい・いいえ
6.4 運用管理規定に基づき、既存の院内関係者の ID・パスワードを借用するのではなく、治験依頼者専用の ID・パスワードを利用することが可能ですか。		☒ はい・いいえ
6.5 プライバシー保護の観点から、該当する患者さん以外の情報にアクセスしないための方策が考慮されていますか。		☒ はい・いいえ
6.6 システムは初心者でも操作が容易ですか。もしそうでない場合は必要なインストラクションを受けることが可能ですか。		☒ はい・いいえ
6.7 操作のためのマニュアルが整備されていますか。		☒ はい・いいえ